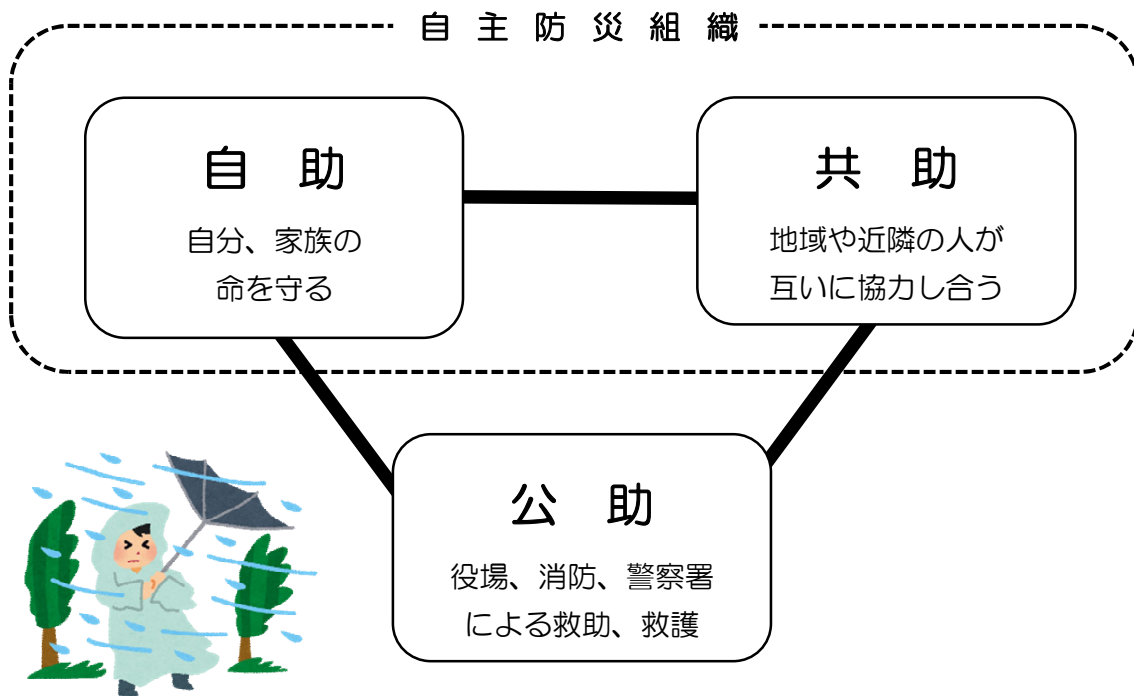


【自主防災組織とは】

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る。」という、地域住民の連携に基づき結成される防災組織です。

自主防災組織は、災害の発生時に、地域住民が連携し、助け合って、お互いの身を守るための防災活動を行います。



1. 目的

地震、風水害その他の災害（以下「災害」という）により人的、物的被害の発生及び拡大を防止することを目的とする。

2. 防災組織の編成及び活動

災害発生時の応急活動を迅速かつ効果的に行うため、別紙（案）のような防災組織を編成し、活動を行う。

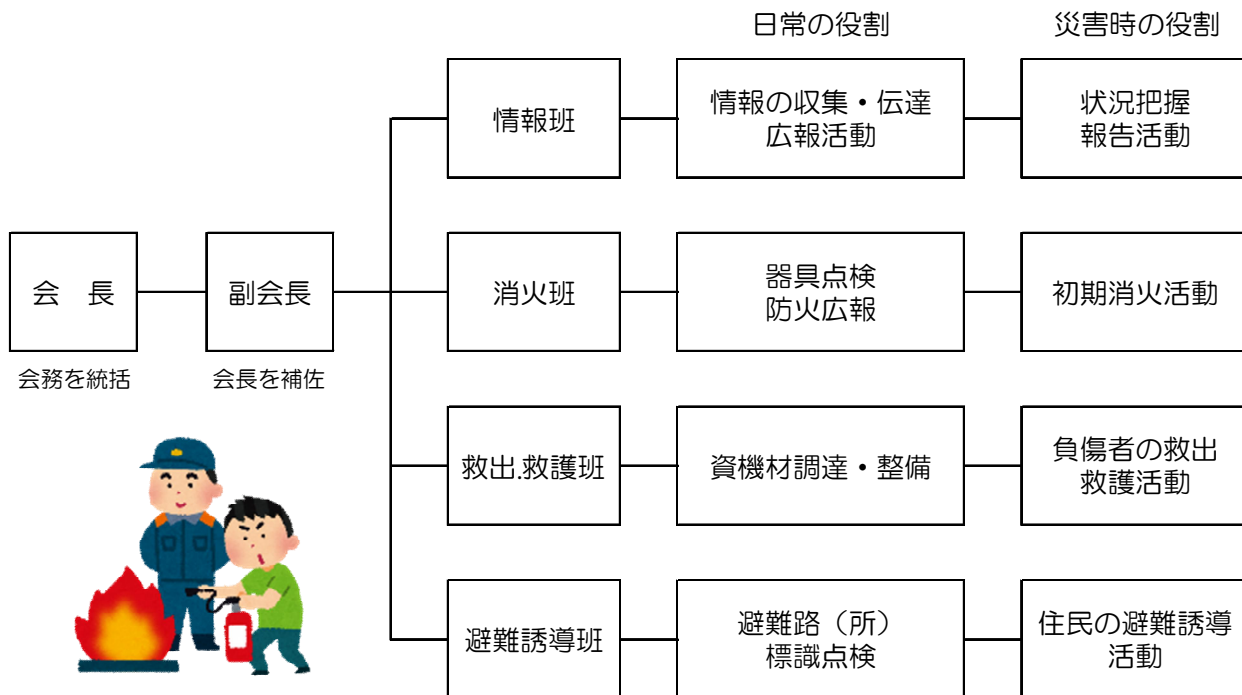
3. 防災知識の普及啓発等

定期的に防災講習会等を開催し、地域住民の防災意識を高めるため、防災知識の普及啓発を行う。

4. 防災訓練

大規模災害に備え、情報の収集、伝達、出火防止、初期消火、救出救護、避難誘導等防災に関する訓練を定期的実施する。

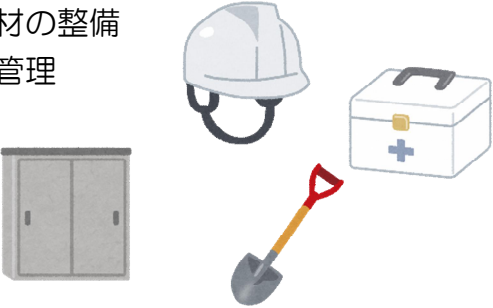
自主防災組織案



活動計画案

活動項目	R3	R4	R5	R6	R7
防災点検 (消火栓、水路、急傾斜地、避難経路等)					
防災資機材点検 (防災倉庫、格納箱、防災備品等整備)					
防災訓練(初期消火訓練等)	○		○		○
救出救護訓練(AED講習等)		○		○	
地区防災マップの作成・配布					
防災知識の普及・啓発活動					
・日常的に各自が行うもの - 懐中電灯、非常用照明の準備 - 非常用持ち出し品の準備、確認 - 水(一人当たり、一日約3リットル) - 非常食(乾物、カップ麺等) - 避難路の確認 - 地区避難所以外の避難場所(親戚宅等)の確認					

(1) 平常時の主な活動

項 目	具 体 的 な 活 動 内 容	備 考
①災害に備えるための活動	・防災資機材の整備 ・備蓄品の管理 	町は、資機材を整備するための補助金を整備します。
②災害による被害を防ぐための活動	・地域の危険個所の把握 ・地域の避難経路、避難場所の把握 ・地区防災マップの作成 	町は、地域独自のハザードマップ作製を支援します。
③防災訓練等、災害時の活動の習得	・消火訓練の実施 ・避難訓練の実施 	特別な訓練を行わなくても、地域行事などの内容を工夫することで実施できます。
④普及啓発活動等	・防災講演会等の開催 ・宅内火器器具等の点検・整備の呼びかけ 	啓発チラシや、視察の実施なども含まれます。

(2) 災害時の主な活動

項 目	具 体 的 な 活 動 内 容	備 考
①情報収集・伝達活動	- 被害情報・救援情報の収集と伝達 - 防災機関（町、自治センター）との連絡 	町は、避難情報、被害状況など、災害情報を共有する手段を構築します。
②避難誘導活動	- 一時避難場所（集会施設等）の開設 - 住民を避難所へ誘導 - 住民の安否確認 	命を守る行動を最優先に、地区集会施設等を開放します。
③救出救助活動	- 負傷者の救出救護 - 介助が必要な人への手助け - 町との連絡、対応検討 	町、消防団、自主防災組織との協力体制を構築します。町から情報（要支援者名簿等）を提供します。
④医療救護活動 ⑤応急活動 ※町主導で対応	- 応急手当、搬送等 - 初期消火活動 - 災害復旧活動 	町、地元消防団の指示のもと、協力する体制を構築します。
⑥給食・給水活動 ※町主導で対応	- 食料、飲料水の調達と炊き出し - 救助物資の受領、分配 	避難生活が長期にわたる場合、町の指示により対応します。